

ポイントカード・電子決済サービスの利用における ミニマリズム的思考の関与について

小崎 瞳^a、篠原 みなみ^b、藤井 皐^c

要約

本研究では、ポイントカードや電子決済サービスの利用とミニマリズムに関連があるのではないかと考え、「ミニマリズム的思考を持つ人ほど、ポイントカードや電子決済サービスの所有数が少ない」、「ミニマリズム的思考を持つ人ほど、ポイントや還元サービスにつられた消費をしない」という二つの研究仮説を立てた。実施したアンケート調査で得られた 58 件の有効回答をもとに回帰分析、重回帰分析を行ったところ、仮説と整合的で有意な結果と、予想と反した有意な結果が得られた。これにより、ミニマリズムがポイントカードや電子決済サービスの利用に影響を与えていることが分かった。

^a 小崎瞳 慶應義塾大学 kozaki-hitomi@keio.jp

^b 篠原みなみ 慶應義塾大学 mi_shinohara73@keio.jp

^c 藤井皐 慶應義塾大学 satsuki0421@keio.jp

1. はじめに

2019年10月1日、消費税は8%から10%へ引き上げられ、それと同時にキャッシュレス化の促進を目的としたポイント還元が開始された。これは国の政策の一部であるが、以前からポイント還元キャンペーンはPay Payをはじめとする様々な企業によって行われてきた。また、電子決済サービスが始まる前にも、ポイントカードという形態で、ポイントに関するサービスが行われてきた。この「ポイント」に関する消費者の行動や、サービスの所有は、個人の持つ世界観に影響されるのではないかと考えられる。

そこで我々は、「ミニマリズム」という考えに注目した。大量消費大量生産の時代の中、我々はそれが必要なのか、他のもので代替できるのか、ということ自分自身に問うことなく消費行動を起こしているのではないか。この問いに対し存在するのがミニマリズムである。このミニマリズム的思考がポイントカードや電子決済サービスの利用に影響を与えているのではないかと考えた。

2. 研究仮説

本研究では、ミニマリズム的思考を「自分にとって本当に大切なものを見極め、それに多くの時間と労力を注力しようとする思考」と定義した。一般に認知されているミニマリズムとは、単にモノを多く所有しないなどといった量に関することであるが、本研究では単に物量についてのことではなく、思考法であるとしている。ミニマリズムの対立概念として、マキシマリズムがあるが、これは自分にとって大切なもののために必要なものを取り入れていくという考えである。また、断捨離とはモノの量を減らす、整理整頓法といえる。

我々はこのミニマリズムの考えを用い、「ミニマリズム的思考を持つ人ほど、ポイントカードや電子決済サービスの所有数が少ない」と考えた。また、「ミニマリズム的思考を持つ人ほど、ポイントや還元サービスにつられた消費をしない」と考え、この二つを研究仮説として設定した。ミニマリズム的思考を持っているのならば、その定義により、ポイントのために自分に本当に必要なもの以外のものを買うことはしないと考えたからである。また、そういったことをしないために、そもそもポイントカードや電子決済サービスを持つことはしないだろうと考えた。

3. 研究方法

研究方法として、アンケート調査を行った。Google Form を用いてアンケートを作成、LINE で知人に回答を依頼し、58件の有効回答を得た。

具体的なアンケート内容については付録に記載する。質問1-7は世界観を測る質問である。うち質問1-4、6がミニマリズム的思考を持っているかどうかについて測る質問であるのに対し、質問5は物質主義か精神主義かについて測る質問、質問7は直感を信じるかどうかについて問う質問となっている。質問5、7は、本研究がミニマリズム的思考について問うものだという意図が回答者に伝わらないようにするため、カモフラージュとして取り入れた。質問1-3については回答する数字が大きいほうが、質問4、については回答する数字が小さいほうがミニマリズム的思考を持っていると考えられる。質問8-13はポイントカードの利用に関する経済行動についての質問、質問14-18は電子決済サービスの利用に関する経済行動についての質問となっている。

これらの質問の回答を用いて単回帰分析を行った。質問1-7を説明変数、質問8-18を被説明変数としている。また、電子決済サービスの稼働率を調べるため常用しているサービスの数を所持数で割ったものも被説明変数として単回帰分析を行った。また、電子決済サービスを利用していない回答者も多くいたため、彼らを除いた単回帰分析（標本数19）と、質問17、18で101と回答した者を除いた単回帰分析（標本数24）も行っている。そして、単回帰分析で有意が出たもののうち、共通の被説明変数を持つもので、ミニマリズム的思考とカモフラージュで入れた世界観からそれぞれ一つずつを説明変数として、重回帰分析も行った。

4. 研究結果

記述統計量と単回帰分析、重回帰分析の結果を表として以下に示す。単回帰分析の結果はミニマリズム的思考とカモフラージュの世界観とに分けている。

〈表1〉世界観に関する記述統計量

	平均	標準偏差	最大	最小
Q1	3.534483	0.724343	4	1
Q2	2.844828	0.846936	4	1
Q3	3.783103	1.696531	6	0.06
Q4	2.413793	0.851661	4	1
Q5	2.844828	0.664409	4	1
Q6	2.517241	0.875753	4	1
Q7	1.741379	0.732505	4	1

〈表2〉 経済行動に関する記述統計量

	平均	標準偏差	最大	最小
Q8	9.025862	7.92879	30	0
Q9	4.784483	3.933841	20	0
Q10	1.99569	1.7336	7	0
Q11	2.637931	1.184647	4	1
Q12	831.3621	214.6992	1000	0
Q13	1.741379	0.901347	4	1
Q14	0.314368	0.450845	1	0
Q15	0.672414	1.006666	5	0
Q16	0.482759	0.700772	3	0
Q17	1.663793	4.377044	30	0
Q18	79.6431	35.62101	120	0
Q19	79.06034	34.87071	110	0.5

〈表3〉 単回帰分析結果 [ミニマリズム的思考]

被説明関数 (経済行動)	説明関数 (世界観)	係数	p 値
15/14、電子決済 常用数/所持数	1、モノが多いと思うか	-0.2367※	0.0145
14、電子決済所持数	1、モノが多いと思うか	0.8349※	0.0004
16、週の電子決済 利用数	2、何が必要か考えている	-1.4175※	0.0327
8、ポイントカード 所持数	3、エネルギー注力度合い	1.2011※	0.0515
17、500円	4、モノが多い方が豊かか	16.5740※	0.0979
17、500円	6、ミニマリズム的思考が あるか	15.7461※	0.0626

※がついているものは、世界観変数の定義を研究仮説と整合的になるように符号を入れ替えている。

〈表4〉単回帰分析結果 [カモフラージュの世界観]

被説明関数 (経済行動)	説明関数 (世界観)	係数	p 値
16、週の電子 利用数	7、直感を信じるか	-3.01	0.0886
9、ポイントカード 携帯数	5、物質主義か	1.4084	0.0722
17、500円	5、物質主義か	14.6694	0.0377
18、5000円	5、物質主義か	19.6475	0.0038

〈表5〉重回帰分析結果

被説明関数	説明変数 X ₁ (物質主義)		説明変数 X ₂ (ミニマリズム的思考)	
	係数	p 値	係数	p 値
17、あなたがコンビニで500円分の 買い物をしようとしたと ころ、購入金額の一定パー セントが決済サービスに還元 されるキャンペーンが行わ れていました。最低で何パー セントの還元率なら追加の 買い物をしようと思いま すか？(1~100でお答えくだ さい。どのような還元率であ ろうと追加購入しない場合 は101とご入力ください)	4.0388	0.6775	15.6884※	0.0706

※がついているものは、世界観変数の定義を研究仮説と整合的になるように符号を入れ替えている。

5. 考察

上記の研究結果をもとに考察をした。ポイントカード、電子決済サービス、電子決済サービスを用いた経済行動、重回帰分析結果についての4つに分けて考察を下に記す。

〈ポイントカード〉

質問3ので、自分のエネルギーを多く注力すると答えた人ほど(つまりミニマリズム的思考を持っている人ほど)、ポイントカードを所持する枚数が少なかった。これは仮説通りの結果で、ポイントカードをたくさん持つことによってポイントのための買い物を避けるためだと考えられる。

カモフラージュの世界観では、精神主義であるほどポイントカードの携帯数が多いという結果が出た。一見物質主義であるほどポイントカードの携帯数が多くなるように思われる。しかし、ポイントカード自体に価値があるのではなく、ポイントカードに貯まるポイントに価値があるのであって、お得に買い物ができたという感情を得るために、精神主義の人はポイントカードを携帯するのだと考察する。

〈電子決済サービス〉

質問1のモノが多いと思うか、で分析すると、そのように思う人ほど(つまりミニマリズム的思考を持っている人ほど)電子決済サービスの所持数が少なくなった。これは仮説通りの結果である。

しかし、同じく質問1で電子決済サービスの常用数を所持数で割ったものを被説明変数として分析した結果、仮説とは異なる結果が得られ、モノが多いと思う人ほど(ミニマリズム的思考を持つほど)、常用数/所持数の数値が高くなった。ここで本研究でのミニマリズムの定義を見ると、「自分にとって本当に大切なものを見極め、それに多くの時間と労力を注力しようとする思考」とある。これを踏まえて結果をみると、ミニマリズム的思考を持つ人は自分に必要なものを考え生活に取り入れるため、彼らが電子決済サービスを所有しているとしたら、それは彼らにとって必要であるから取り入れているのであり、だから常用数と所持数に大差がなかった(常用数/所持数が1に近くなり、数値が大きくなる)のだと考えた。常用していないということは、ミニマリズム的思考を持つ人にとってそこまで必要ではないということなので、所持しなくなるのである。

この考察を裏付けるように、質問2の自分に何が必要か考えているかどうかを問う質問で高い数値を答えた人ほど(ミニマリズム的思考を持つ人ほど)、週の電子決済サービスの利用回数が多くなっているという結果が得られた。これも仮説とは異なる結果だが、上記の考察と同様の考察をすることができ、ミニマリズム的思考の人が電子決済サービスを持つならば、必要だから持っていると考えられるので、自ずと利用回数も増えるのである。

カモフラージュの世界観では、直感を信じる人ほど、週の電子決済利用数が多いという結果が得られた。電子マネーは実体のないお金であるので、お金を使っている感覚を得ることはあまりなく、人々は買い物に抵抗を感じにくくなると考えられる。そのため、直感を信じやすい人が電子決済サービスで買い物をすると、直感のままに商品を購入してしまうのだと考えた。

〈電子決済サービスを用いた実際の消費行動について〉

質問17を被説明変数とした結果をみると、質問4のモノが多いほうが豊かだと思うかを問う質問と、質問6のミニマリストか問う質問の二つで有意な結果を得ることができ、どちらもミニマリズム的思考を持っている人ほど最低還元率が高かった。質問17のような状況の場合、ミニマリズム的思考がある人は還元率に左右されずその商品が自分に必要かどうか見極めて購入するので、そうでない人に比べ高い数値を記入するのだと考える。また、この結果から、ポイント還元などのサービスを行ってもミニマリズム的思考を持っている人の消費を伸ばすことは難しいと考えられる。しかし、ミニマリズム的思考を持っていたとしても、高い還元率ならば購入する、つまり誘惑には負けることもあることが分かった。

質問18では500円ではなく5000円としているが、こちらでは有意な結果は得られなかった。5000円ではすでに高額な買い物であるため、どんなに低い還元率がついていたとしても、ミニマリズム的思考があるかないかに関わらず、追加の買い物を控えるのではないかと考える。

カモフラージュの世界観では、500円、5000円ともに物質主義であるほど最低還元率が低くなるという有意な結果が得られた。物質主義とは、金銭や物品などといった経済的なことの所有や獲得を優先する態度のことである。そのため、物質主義の人は現在の購入金額に関わらず、還元によりお得になるのならば追加の買い物をするのだと考えた。

〈重回帰分析〉

質問17を被説明変数、質問5を説明変数 X1、質問6を説明変数 X2 として重回帰分析をした。その結果、質問6のみ有意な結果が得られた。これにより、ミニマリズム的思考が還元率の行動に与える影響は、物質主義か精神主義かどうかであることよりも強いことが分かった。

6. 結論

研究により、ミニマリズム的思考がポイントカードや電子決済サービスの利用に影響を与えていることが分かった。冒頭で触れたキャッシュレス化の促進について、ミニマリズム的思考の人が一度電子決済へと切り替えたら（電子決済サービスを必要だと認識したら）以

降も利用すると考えられるが、電子決済サービスへの切り替えに踏み出してもらうためには還元サービスだけでは動機付けが足りないのかもしれない。ポイント還元などといったお金に関するだけでなく、本研究で扱ったミニマリズムなどといった個人の世界観も考慮すると、キャッシュレス化も早く進むのではないだろうか。本研究は、電子決済サービスの普及において、より多角的な視点からのアプローチが必要であると示すという点において意義があるといえる。

付録

《世界観を測るアンケート》

1、現代にはモノが多いと思いますか？

思わない 1 — 4 思う

2、自分に何が必要かを常に考えていますか？

考えていない 1 — 4 考えている

3、あなた自身のエネルギーを 100 だとして、あなたがやりたいと思っている活動に何パーセント注力すべきだと思いますか？

0%・1~20%・21~40%・41~60%・61~80%・81~100%

4、あなたは物が多いほうが豊かに生きることができると思いますか？

思わない 1 — 4 思う

5、あなたは物質主義（モノなどの物質的なものを重視する考え）と精神主義（記憶などの精神的なものを重視する考え）のどちら派ですか？

物質主義 1 — 4 精神主義

6、あなたはミニマリスト（自分の周辺のモノを必要最小限に抑えた生き方）とマキシマリスト（多くのモノと共存する生き方）のどちら派ですか？

ミニマリスト 1 — 4 マキシマリスト

7、あなたは直観を信じる人ですか？

信じる 1 — 4 信じない

《経済行動を測る質問 - ポイントカード編 - 》

8、あなたはポイントカードを何枚所有していますか？

9、そのうち何枚ほどを携帯していますか？

10、あなたは週に何回ほどポイントカードを使いますか？

11、スタンプが三つで景品がもらえるキャンペーンがあります。その景品はあなたが好きなものですがスタンプは全て違うお店で集めなければなりません。それぞれのお店までの所要時間が5分のとき、あなたは景品のためにスタンプを集めようとしていますか？

しない 1—4 する

12、1000円以上購入すれば「次回10%引き」のクーポンがもらえるとします。現在のあなたの購入予定額は1000円以下です。現在の購入予定額が何円ならその差額を埋める買い物をしますか？（例、1000円まであと200円なら差額を埋める買い物をしたいと考える場合→800円と記入）

13、買い物へ行った際ポイント（1ポイント＝1円）がいつもの三倍のキャンペーンが行われていました。あなたは予定していたもの以外も購入しますか？

しない 1—4 する

《経済行動を測る質問 - 電子決済サービス編 - 》

14、あなたは何種類の電子決済サービス（LINE Pay 等）を登録していますか？

15、そのうち何種類を常用していますか？

16、あなたは週に何回ほど電子決済サービスを使用しますか？

17、あなたがコンビニで500円分の買い物をしようとしたところ、購入金額の一定パーセントが決済サービスに還元されるキャンペーンが行われていました。最低で何パーセントの還元率なら追加の買い物をしようと思いますか？（1～100でお答えください。どのような還元率であろうと追加購入しない場合は101とご入力ください）

18、あなたがコンビニで5000円分の買い物をしようとしたところ、購入金額の一定パーセントが決済サービスに還元されるキャンペーンが行われていました。最低で何パーセントの還元率なら追加の買い物をしようと思いますか？（1～100でお答えくだ

さい。どのような還元率であろうと追加購入しない場合は 101 とご入力ください)